

II 地域の活性化と結びつきの強化

農業と生活を支えるメインバンク機能を担う“信用部門”と、人・いえ・くるまの総合的な万全な保障の提供をおこなう“共済部門”とともに、地域に根ざした食文化の継承・健全な食生活の実現、食農教育の展開といった地域に密着して安心して暮らせる豊かな地域づくりと結びつきの強化に取り組んでまいります。

本項では現在取り組んでいますすくらし等に係る活動の一部を写真でご報告いたします。

■食育・食農教育活動



学校農園（畑の先生）



学習田（田んぼの先生）

■健康管理活動



一日人間ドック

■交流活動



J Aまつり



年金友の会グランドゴルフ大会

■介護・福祉活動



J A デイサービスセンター

■青年部・女性部活動



青年部による軽トラ産直



J A 女性部講座

■子育て・次世代支援活動



わくわく親子広場



ちやぐりんキッズフェスタ

■消費者交流活動



生活クラブ生協との稲刈り体験交流

III 組合員に評価される組合経営

実践項目	成果指標項目	数値等		行動計画
		H28 基準	H31 目標	
准組合員対象の研修・視察・情報提供などの教育の充実	J A いわて平泉版のガイドブックの制作		准組合員用 6千部制作	ガイドブックを制作し、准組合員へ配布。准組合員の現況確認・整理にも活用
地域性と取引状況を勘案してのふれあい店、支店の統廃合の推進	支店・ふれあい店の数	ふれあい店 3 支店 22	ふれあい店 0 支店 8 出張所 3	J A の使命である農業を守り育て、総合事業を堅持し、自主的 J A の自己改革の取り組みを不断に継続するため、信用・共済を含めて J A 経営基盤の強化の取り組み
技術の平準化、事務の効率化と組合員の利便性を考慮した営農指導部門体制の検討	指導部門の1か所集約	営農・畜産部 各2か所	営農・畜産部 各1か所	営農部・畜産部を現在の川崎支店の建物1・2階に集約



J A いわて平泉 J A 自己改革への挑戦 明日への黄金の郷づくり

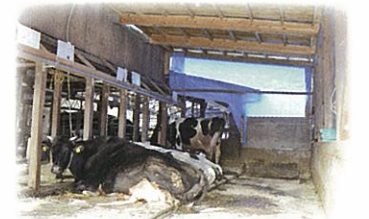
J A では、「農家組合員の所得増大と農業生産の拡大」を大命題とし、「持続し続けるいわて平泉農業の確立」と「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合の確立」を目指して日々の事業を展開しています。

第1次3ヵ年計画（平成26～平成28年）の取組成果振り返り

■黄金の郷づくり推進対策事業を柱とした農業振興活動

地域農業の振興と農家所得の向上、責任ある産地としての成長に向け、担い手経営体や多様な担い手の経営規模拡大を目指して J A 独自で取り組んできました。

事業は、①集落営農ビジョン作成や農業法人の発展に向けた視察研修バスなどを助成対象とする集落営農推進対策支援（4,596千円）、②岩手県オリジナル水稲品種の栽培研究や実証圃場設置などを助成対象とする米穀振興推進対策支援（343千円）、③新規・増反で園芸規模拡大や原発事故に伴う放射能被害からの復活を期す乾椎茸再生への取り組み、新規就農者実践農場設置などを助成対象とする園芸振興推進対策支援（87,733千円）、④県内外からの素牛導入や牛舎増改築、自家保留などの育種価調査などを助成する畜産振興推進対策支援（150,992千円）の4部門で構成しています（カッコ内は合併からの3年間合計額）。



黄金の郷づくり事業を活用しての牛舎の増築



黄金の郷づくり事業を活用して新規のハウス導入

■水稲肥料・農薬のコスト低減

平成27年度に多くの組合員に関係する水稲農薬の値引き2,600万円余りを含め園芸農薬の値引きと合わせて4,000万円余りの値引きを実施。その値引きを一過性とせず、現在も据え置いているほか、除草剤などの大型規格化による供給価格の引き下げに取り組んでおります。

例：ツイインターボ箱粒剤08

H26年度当用価格3,352円→予約価格3,096円→H27年度予約価格2,866円

ヤイバジャンボ250g

H26年度当用価格3,672円→予約価格3,564円→H27年度予約価格3,139円

また、平成28年度春肥料の水稲肥料において、旧 J A それぞれの肥料からいわて平泉オリジナル銘柄「黄金シリーズ」への統一で前年比13%余りの価格の縮減を行っております。

■多様な販売体制への構築で所得向上

合併前2 J A での取引を行っていた市場において、取引市場を限定化することで数量（ロット）拡充につなげ、信頼される生産地づくりを図っています。加えて J A いわて平泉の野菜重点5品目をセットにて取引することで、棚揃えにも対応。将来はリングまでの棚を確保することで、1年の半分以上は J A いわて平泉が並ぶ体制づくりに取り組んでいます。

また、一関市・平泉町などの行政と連携したトップセールスを積極的に実施することで、「いわて平泉産」の知名度向上により手にとられる産地づくりが着実に歩みを運んでいます。



J A 組合長・一関市長・平泉町長による市場でのトップセールス

■公共牧場（牧野）と集乳事業の効率化

J A が受託管理する須川と室根の公共牧場（牧野）を和牛と乳牛とにすみ分けすることで、病気対策や管理の効率化による生産費の削減に取り組んでいます。また、J A 管内で集乳業務が3会計（3系統）あったものを、路線の見直しを図りながら一本化したことで、効率化・費用の削減の効果が今後現れてまいります。



